

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表: 6年4月10日

事業所名 なないろキッズSmile

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			活動スペースは十分な広さを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	4			適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			バリアフリーでトイレに手すりもついているため、車椅子でも入れる広さを確保している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			問題点があった場合はその都度、職員会議で情報や意見交換を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			年1回アンケート調査を実施しております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		評価に基づき業務改善に繋げるようにしたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			月1回、必ず内部研修を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			連絡帳や送迎時の報告相談を行う中で情報を基に計画を立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			必要に応じて、発達検査の結果をお持ちいただき、参考とさせていただきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			年間の活動計画をもとにプログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			日々の活動計画書は複数の職員で確認し、チェックを行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			季節に合わせた活動を取り入れたり、休日や長期休暇は平日できない活動を行うなど内容を工夫しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			毎日、個別活動と集団活動の両方を組み合わせて活動している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			支援前にその日の活動についての打ち合わせや役割分担を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		4		翌日に振り替えることが多い
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			日誌等に記録をしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			6か月に1度、計画の見直しを行うため、個別支援計画会議を行い、内容の更新をしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			ガイドラインに基づき活動プログラムを立てております。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者など適任者を選んで出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		学校からのメールやHP、教員と直接のやり取りをさせて頂いております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	受入れをしていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		必要に応じて、情報共有する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	該当する児童がいない
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4	機会があればぜひ行いたいと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	コロナ禍のため行えていないため、できるだけ参加したいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	コロナ禍のため行えていないため、できるだけ参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		必要に応じて個別に相談の時間を設けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	現時点では実施していないが、希望に応じて行いたいと思います。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明をさせて頂いております。また不明点があれば随時、管理者が説明をするようにしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談があった際には適切に対応させて頂いております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	コロナ禍のため行えていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるよう努めています。苦情受付・解決 担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		インスタグラムやLINE、書面などで発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4		厳重に管理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		視覚でわかりやすいように配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	現時点では実施できていないので、できるだけ実施できるように心がけていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		年度初めに保護者へ書面にて通知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		毎年、避難訓練をおこなっております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止のための研修を必ず行い、対応についての確認している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うこととし、行った場合は記録に残し、保護者に説明することとしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4	該当する児童がいないため行っていない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		危険な事例があった場合、ミーティングにて事実確認と共有、今後の対策を協議している